

平成29年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府中央卸売市場	指定管理者：大阪府中央卸売市場管理センター株式会社	指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	所管課：環境農林水産部 中央卸売市場
----------------	---------------------------	---------------------------	--------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
<p>一 提案の履行状況に関する項目</p> <p>(1) 施設の設置目的及び管理運営方針</p>	<p>●施設の設置目的に沿った運営</p> <p>●管理運営の効率化と迅速な対応</p> <p>●法令遵守の徹底と危機管理への対応</p> <p>●外注計画に基づく業務の発注</p> <p>●市場の生鮮物流拠点機能の強化のため、荷捌きスペースの拡充などが図られているか</p>	<p>●施設の設置目的に沿った運営</p> <p>▶大阪府中央卸売市場は、北大阪地域を中心に安心・安全な生鮮食料品を安定的に供給するという重要な公共的使命を担っており、その機能に支障が生じないよう365日、24時間体制で管理運営業務を行っており、問題事象は発生していない。</p> <p>▶府市場においては、市場関係者が市場を巡る諸問題について情報を共有、審議し、諸課題の迅速な解決を図るため、市場関係者のトップが委員となり「常駐代表者会議」が設置され、毎月の定例会議のほか必要に応じて緊急会議が開催されるなど機動的な運営がなされている。</p> <p>こうした横断的な会議は、他の市場では例を見ない府市場独特の取り組みであり、他市場からも高く評価され、府市場をモデルに検討が進められている。</p> <p>市場の管理運営業務に関しても、同会議の場において、事業の取組状況を詳細に説明・報告するとともに、委員から出た意見や要望についても審議し、合意された事項を事業に反映させている。</p> <p>また、同会議での審議内容や審議結果については、委員がそれぞれの所属に持ち帰り、組織内で周知徹底しているほか、毎月発行されている「市場だより」においても詳細に紹介、周知するなど、市場関係者が一体となって施設の設置目的に沿った管理運営業務の実現に努めている。</p> <p>●管理運営の効率化と迅速な対応</p> <p>▶民間会社のメリットを十分に発揮し、少数精鋭の社員で、サービス水準を低下させることなく徹底した経費の節減を図るなど効率的な運営を行い、大幅なコストの削減が実現できている。</p> <p>▶特に、市場は電気使用量が多いことから、できるだけ安価な電気を購入するため、7月から電気需給契約を新電力に変更した。その結果、場内の電気料金は、従来の契約に比べ年間6,100万円、34.6%削減することができ、当社はもとより場内業者の負担軽減を図ることができた。</p> <p>▶使用許可や緊急修繕等には即時対応するなど場内業者等の業務に支障がないようスピード感をもって現場最優先の迅速な事務処理を行っている。</p> <p>●法令遵守の徹底と危機管理への対応</p> <p>▶指定管理者は公の施設の管理を担う公的側面が強いことから、全役職員が常に法律や条例はもとより就業規則・社内規程・マニュアル等の基本的なルールに従って管理運営業務を行うとともに企業としての社会的責任を果たすようコンプライアンスの徹底に努めている。</p> <p>▶社員の健康の確保を図るため、労働安全衛生法に基づく一般健康診断を実施している。必要に応じて診断項目の追加や予防接種も実施している。</p> <p>また、社員が過重労働にならないようタイムカードを随時チェックし、労働時間の適正な管理を行っており、サービス残業は発生していない。</p> <p>▶管理運営業務を実施するにあたり、業者との契約締結や、業務規程等法的及び税務上の解釈を巡って疑義が発生した場合には、顧問弁護士や公認会計士に速やかにリーガルチェックを依頼し、法令遵守に万全を期している。</p> <p>【法務相談実績(4-12月)】</p> <p>・面談：7回、メール：多数回</p>	A	<p>○施設の設置目的に沿った運営</p> <p>▶中央卸売市場の果たすべき機能に支障が生じないよう、適切な施設・設備管理、警備体制を整え事故・事件の発生防止に努め、施設の設置目的に沿った管理運営を行っている。</p> <p>▶毎月開催される常駐代表者会議において、業務の実績及び今後の取組予定を報告。場内事業者の意見を聴取することで、良好な協力関係を築き、場内一丸となって施設の設置目的に沿った管理運営業務を実現している。</p> <p>○管理運営の効率化と迅速な対応</p> <p>▶従前より管理コストの削減に積極的に取り組んでいるが、今年度は特に電気事業者と粘り強く価格交渉を行った上で事業者を変更した結果、年度途中から大幅な経費削減が実現した。また、施設・設備の修繕等についても、場内業者のニーズに応え、迅速な対応を行っている。</p> <p>○法令遵守の徹底と危機管理への対応</p> <p>▶法令遵守や就業規則等について社員への周知に努めるとともに、顧問弁護士や公認会計士に随時相談するなど、管理運営を適切に実施している。また、地域の人権団体が実施する研修等に社員を参加させるなど、公の施設を管理する指定管理者としての意識が高い。</p> <p>▶危機事象が発生した場合に、迅速・的確な対応がとれるよう緊急連絡体制（管理C、府、警備責任者、電気室責任者、警察、消防、関電、大阪ガス、病院）を整え、火災発生時マニュアル及び地震発生時マニュアルに基づき適正に対応している。</p>	A	<p>▶全ての項目について、指摘・提言なし。</p>

			<p>【会計・税務相談実績(4-12月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談：15回、メール：多数回 ▶社員のコンプライアンス意識の向上を図るため、外部の関連研修にも積極的に参加させている。 <p>【研修実績(4-12月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15回参加(延べ15人、社員一人あたり2.5回) ▶危機事象が発生した場合又は発生する恐れがある場合に、社員や場内関係者の生命、身体、財産等への被害を防止・軽減するため緊急連絡体制やマニュアルを整備し、これに基づき必要に応じ昼夜を問わず直ちに出動し、適正に対応している。 <p>●外注計画に基づく業務の発注</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶自ら実施するよりも外注の方が経済性・専門性等においてより優れた成果が期待できる業務については、当初の外注計画に基づいて発注し、新規に外注する場合も府の事前承認を得た上で発注している。 ▶外注した業務が契約どおり適正に履行されているかどうかを検証するため毎月業務報告書を提出させるとともに、適宜現場での実施検証を行っている。 <p>●市場の生鮮物流拠点機能の強化のため、荷捌きスペースの拡充などが図られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶広大な敷地を有する優位性を活かし、2階プラットフォームなど既存スペースをできる限り活用することにより青果及び水産部門の量販店向けの荷捌きスペースの確保を図っている。 ▶特に荷が嵩張る青果部門については、買出人の利便性を損なわないよう配慮しつつ、買出人専用駐車場について配送業者毎に大型トラックの利用時間を割り当て荷捌作業の効率化を図っている。 ▶青果大通りに区画ラインを引き、産地からの配送トラックの動線の確保を図っている。 ▶交通の結節点に位置するという魅力的な立地条件を活かし、産地と市場間の中継・転送拠点としてのハブ化を目指した検討を進めている。 		<p>○外注計画に基づく業務の発注</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶警備、清掃、設備管理など、経済性・専門性の観点から再委託により優れた成果が期待できる分野では、外注計画や府への事前協議に基づき業務が発注されている。 また、その履行確認も適正に実施されている。 <p>○市場の生鮮物流拠点機能の強化のため、荷捌きスペースの拡充などが図られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶場内事業者と協議し、今年度は特に配送トラックが混雑しやすい青果大通りについて、一時保管スペースとの区画ライン(幅4.1m、全長307.5m)を引くことでトラックの動線を確保した。 ▶産地と市場間の中継・転送拠点としてのハブ市場化に向け、場内関係者及び府と連携し、その実現に向けた検討を進めている。 		
	<p>(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果</p>	<p>●施設の使用許可は、公平公正に行われているか</p> <p>●施設使用の不適切な使用に対する是正指導の強化等により、市場内スペースの有効活用が図られているか</p>	<p>●施設の使用許可は、公平公正に行われているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶使用許可にあたっては、関係法令等に基づき公平公正に行っている。 ▶空き施設や空区画が発生した場合の利用者の選定については、仲卸組合と連携しながら公募を行い、複数の希望者があれば抽選によって選定するなど公平公正に行っている。 <p>●施設使用の不適切な使用に対する是正指導の強化等により、市場内スペースの有効活用が図られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶不法占有等を未然に防止するため日常的に場内ラウンドを行い、不適切な使用があれば、その都度、関係者から事情聴取を行うなどは是正指導を行っている。 ▶必要に応じてガードレールやポストコーン等を設置するなど物理的な手法により適正使用を図っている。 ▶特に悪質なケースについては、文書による警告や法的措置も含めて厳正に対処することとしている。 ▶これらの是正指導の結果、生み出されたスペースを新たな利用に繋げ利用料金の増収を図っている。 ▶利用料金等の滞納は、収入減のみならず不平等を発生させることから、滞納が生じないよう民間ならではの徹底した債権管理を行っている(滞納ゼロ)。 	S	<p>○施設の使用許可は、公平公正に行われているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶空き施設は、その都度公募により業者を募っており、公平公正に使用許可を行っている。 <p>○施設使用の不適切な使用に対する是正指導の強化等により、市場内スペースの有効活用が図られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶施設の不適切な使用や場内ルールの違反者に対しては、口頭による是正指導や文書による警告などで厳正に対処している。 旧バナナ加工施設前通路において、ガードレールの設置と防犯カメラを増設(5台)し不法駐車等の排除や器物損壊対策等を徹底している。 また、常駐代表者会議において場内ルールの徹底と意識向上に努めている。 さらに、厳正な対処により生じた新たなスペースを新規利用させることで、積極的に収入確保にも努めている。 ▶利用料金未納が発生すれば、直ちに事業者に面談し状況確認するなど、債権管理を徹底して行い、利用料金等の滞納は発生していない。 	S	

<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p>	<p>●施設の稼働率を向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか</p> <p>【仲卸売場稼働率】 H29 目標：91.5% H28 実績：91.9%</p> <p>●府市場の果たしている役割が府民に理解されるよう市場のPRを実施しているか</p> <p>【市場見学者数】 小学校社会見学者 H29 目標：2,700人 H28 実績：2,788人 一般見学者 H29 目標：300人 H28 実績：262人</p>	<p>●施設の稼働率を向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか</p> <p>▶空き施設の解消を図るため、事業活動からみて現状の店舗のスペースでは手狭となっている仲卸業者や通路に荷を置いている業者に対して、空店舗を利用するよう個別に働きかけている。 ▶ホームページ等を活用し、新規参入者の利用促進を図っている。 ▶セリ場や共有スペースを不適正に使用している業者を個別指導し、退去させることにより空店舗への利用を誘導している。 ▶この結果、平成29年12月末までの仲卸売場稼働率は91.3%となり、僅かに目標値の達成はできていないものの、昨年度同期(90.3%)に比べやや上昇するなど高い水準を維持している。 ▶有料駐車場については、契約外の車が駐車できないようカラーコーン等を設置することにより有料空き区画への新規利用に繋げている。</p> <p>●府市場の果たしている役割が府民に理解されるよう市場のPRを実施しているか</p> <p>▶市場見学者の拡大を通じて市場PRを図るため、ホームページ等で周知に努めている。 ▶府においては実施されていなかった一般府民や外国人等を対象にした見学会も実施している。 ▶本年度新たに修学旅行の一環として秋田県立高校生を受け入れた。 ▶この結果、平成29年12月末までの小学校社会見学者は、2,195人、一般見学者は176人となっている。</p> <p>【事業実績(4-12月)】 小学校社会見学者 目標：2,700人 実績：2,195人(81.2%) 一般見学者 目標：300人 実績：176人(58.7%)</p> <p>▶安全で新鮮な生鮮食料品の安価での提供を通じ市場の機能や役割が消費者に理解されるよう毎年実施している「市場開放デー」において中心的な役割を發揮し、3万人を超える府民の参加を得るなど大きな成果を収めた。 ▶市場開放デーを始め食育活動の一環として実施している「お魚出前料理教室」や事業連携大学との事業を通じて市場機能の積極的なPRに努めている。</p> <p>▶百貨店や量販店を中心に展開している市場直販セールや販促活動において市場広報大使「せりちゃん」を積極的に出演させるとともに、販促グッズを配布することにより市場の知名度や市場機能のPRに努めている。</p> <p>【せりちゃん出演日数(4-12月)】 18日</p>	<p>○施設の稼働率を向上し、空き施設の解消を図るための工夫が行われているか</p> <p>▶仲卸業者に対する個別の働きかけや、ホームページ等で広報を行い空き施設の解消に努めている。仲卸売場稼働率については年間目標値を達成していないものの、高い稼働率を維持している。 ▶共有スペースを不適正に使用している業者については個別指導し、共有スペースから退去させるとともに、空き店舗等の利用を促している。 ▶不法駐車防止のためのカラーコーン設置など、駐車場の秩序維持と有料空き区画への新規利用を誘導している。</p> <p>○府市場の果たしている役割が府民に理解されるよう市場のPRを実施しているか</p> <p>▶ホームページ等での周知により、小学校社会見学者は目標に達する人数を受け入れる見込みである。 (4-12月:2,195人 1-2月:401人 計:2,596人(96.1%)) ▶一般見学者について、随時型府政学習会(秋田県高校生)、連携大学の学生、ハラル市場関係者、外国市場関係者等の見学・視察を臨機応変に受け入れ、様々な機会を捉え市場PRを行っている。 (4-12月:176人 1-2月:71人 計:247人(82.3%)) ▶小学校社会見学に比べると、一般見学者の受け入れが低下している。昨年度作成した外国人向けパンフレット等を活用するなど、より幅広い方に市場見学に来ていただけるような取り組みを府とともに検討する。</p> <p>▶「市場開放デー」への積極的な取り組みのほか、年間を通して、場内業者や大学生等と連携し、「お魚出前料理教室」や量販店における「市場まつり」、1か月にわたる百貨店での「魚食普及月間」への取り組みなど、多種多彩な催しの開催により市場のPRに大きく貢献している。また、立命館大学茨木キャンパスとの事業連携に向け協議を進めている。</p> <p>▶市場キャラクター「せりちゃん」を上記イベントなどに積極的に出演させるとともに、市場グッズの配布を行うことで、市場のPRに努めている。</p> <p>【せりちゃん出演日数(年間見込み)】 4-12月:18日 1-3月:5日 計:23日</p>	<p>A</p>
---------------------------------	---	---	---	----------

	<p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>●市場の活性化を図るための取組みが計画に基づき実施されているか</p> <p>●市場設備のコールドチェーン化を推進する取組をしているか</p>	<p>●市場の活性化を図るための取組みが計画に基づき実施されているか</p> <p>▶市場活性化計画に基づき、「魅力ある市場づくり」、「川上・川下との連携」、「情報発信機能の強化」を柱に活性化に繋がる各般の施策をハード・ソフト両面にわたって多面的に推進している【別紙参照】。</p> <p>(主なハード整備等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理棟トイレ改修工事(2期工事：5～7階) ・青果・水産仲卸棟地下LED照明取替工事 ・喫煙室の整備 ・管理棟エレベータ更新工事 など <p>(主なソフト事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場開放デーにおける食育イベント開催 ・大学連携事業の推進(追手井、食育事業等) ・阪神百貨店魚食普及月間イベント ・京阪百貨店産地フェア販促イベント ・イオン市場直送セール(水産、毎月1回、土曜日) ・メディアの活用による認知度のアップ など <p>【事業実績(4-12月)】</p> <p>事業費：40,203,450円(抜)</p> <p>※提案額：70,000千円(抜)</p> <p>※H29年度事業計画：80,000千円(抜)</p> <p>【H29年度見込額：80,000千円(抜)】</p> <p>●市場設備のコールドチェーン化を推進する取組をしているか</p> <p>▶これまで実施してきた有圧換気扇の増設、大屋根の整備、仲卸業者による未利用地での低温流通加工施設の整備、保冷施設整備のための電気容量増幅工事等に加え、新たに水産仲卸売場の全面的な低温化手法について専門業者と具体的な検討を進めている。</p>	<p>S</p> <p>○市場の活性化を図るための取組みが計画に基づき実施されているか</p> <p>▶民間企業のノウハウを発揮し、多面的な活性化事業を実施し、市場の活性化に取り組んでいる。</p> <p>▶ハード面では、管理棟トイレの改修工事の終了(全88箇所(うち、指定管理者69箇所、府19箇所))により市場内トイレの全面改修が完了。LED照明取替など、環境に配慮し清潔できれいな市場づくりに努めている。</p> <p>数年前より休止状態であった管理棟エレベータ改修工事により利便性向上を図った。</p> <p>また、場内事業者の要望を受け、駐車場の利便性向上を図るため駐車場の区画幅を広げる工事を順次実施し、駐車区画の新規利用者の確保に努めている。</p> <p>さらに、売り場に喫煙室を整備し完全分煙に取組み、受動喫煙の防止及び生鮮食料品の安全安心の確保に努める予定である。</p> <p>▶ソフト面では、百貨店やホテル、事業提携大学(追手門学院、大阪成蹊、梅花女子)及び府と連携したイベントを多数実施するなど、市場の認知度向上に向けた活動を行っている。</p> <p>▶活性化事業は、提案額70,000千円を上回り、事業計画額80,000千円を達成する見込み。</p> <p>【事業実績年間見込(抜)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4-12月実績 40,203千円 ・管理棟EV改修工事、喫煙室の設置工事、管理棟1階展示コーナー 他 39,793千円 計 80,000千円 <p>○市場設備のコールドチェーン化を推進する取組をしているか</p> <p>▶水産仲卸売場の全面的な低温化手法について専門業者と具体的な検討を進めるなど、コールドチェーン化のための検討を進めている。</p>	<p>S</p>	
	<p>(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか</p> <p>●施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか</p>	<p>●点検・補修が適格かつ迅速に行われているか</p> <p>▶設備の老朽化が顕著になり、市場機能に重大な支障を来すことが懸念されることからエレベータや消防設備等の法定点検はもとより、市場機能に支障を来さないよう主要設備について年間計画を定め、これに基づき計画的に保守点検を実施し、不具合が確認されれば、その都度修理を行うなど万全を期している。</p> <p>●施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか</p> <p>▶市場機能を維持するため、経営努力により捻出した財源を活用し、大阪府と協議しながら老朽化が進む施設・設備の維持補修工事を積極的に実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲卸店舗シャッター修繕工事 ・側溝修繕工事 ・舗装修繕工事 ・防水工事 など <p>【事業実績(4-12月)】</p> <p>件数：170件</p> <p>事業費：32,650,248円(抜)</p> <p>※提案額：60,000千円(抜)</p> <p>※H29年度事業計画：65,000千円(抜)</p> <p>【H29年度見込額：100,000千円】</p>	<p>S</p> <p>○点検・補修が適格かつ迅速に行われているか</p> <p>▶エレベータや消防設備等の法定点検だけでなく、計画的な保守点検及び迅速な修理を実施しており、市場機能に支障をきたさぬよう対応している。</p> <p>○施設の維持管理のための改修工事を積極的に実施できているか</p> <p>▶収入の確保、コストの削減により捻出した財源を活用して、100万円を超える修繕・改修事業についても積極的に実施している。</p> <p>▶維持補修事業は、提案額60,000千円、事業計画額65,000千円を大きく上回り、100,000千円となる見込み。</p> <p>【事業実績年間見込(抜)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4-12月実績 32,650千円 ・管理棟外壁塗装修繕、S-16天井裏防水、青果・水産卸棟配管入替 他 67,350千円 計 100,000千円 	<p>S</p>	

			<p>▶民間会社の優位性、メリットを發揮し、大阪府の依頼に基づき修繕事業を実施しており、年度末には契約どおり完了見込である。</p> <p>【事業計画(H29年度)】 件数：3件 事業費：72,133千円(抜)</p>	<p>▶府が実施するよりも効率的かつ効果的な工事が期待できるものについては、積極的に指定管理者が実施している。</p> <p>【事業実績見込(抜)】 計63,200千円 ※削減努力により計画時点から▲8,933千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果C棟立駐塗膜防水 38,500千円 ・管理棟窓面台修繕 17,000千円 ・管理棟屋上防水 7,700千円 		
	<p>(6)府施策との整合</p>	<p>●府・公共事業協力等 ●行政の福祉化 ●府民、NPOとの共同 ●環境問題への取組み</p>	<p>●府・公共事業協力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶食育事業や食の安全・安心領域を中心に環境農林、広報広聴、保健衛生、商工労働等多くの行政分野で積極的に協力している。 ▶「大阪府健康づくりアワード」の機運を盛り上げるため、市場きよらの「せりちゃん」を出演させるとともに入賞者に副賞を提供するなど積極的に協力・支援を行っている。 ▶「府政学習会」の一環として、市場施設を提供し、食育や食の安全・安心に関する学習の場を提供している。 ▶環境にやさしい燃料電池の導入に当たって電力売買契約の締結等全面的に協力している。 ▶災害に強い市場づくりの一環として、大阪府全庁に先駆け、非常用備蓄セット付きの飲料自販機を導入した。 ▶地元茨木市への市民の関心と理解を深めるため、市主催の「魅力発見ツアー」に場を提供するなど積極的に協力している。 <p>●行政の福祉化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶知的障がい者の就労支援として管理棟での清掃訓練を導入し、日常業務が円滑に実施できるよう積極的に支援・協力を行い、訓練生の受入環境の整備について支援団体やご家族からも非常に高い評価を得ている。 ▶本年度から知的障がい者に加え、精神障がい者も対象に訓練を受け入れている。 ▶清掃委託事業者に対して障がい者を雇用するよう指導し、2名の知的障がい者の正規雇用が確保されている。 ▶C-STEPと緊密に連携し、就職困難者の雇用・就労支援のあり方について提言・情報交換を行うなど協力している。 <p>●府民、NPOとの共同</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶食育や料理教室の運営がより効果的に実施できるよう大学や市内民間団体等と連携、協働して実施している。 ▶「NPO 法人茨木こども食堂」とコラボし、食材の提供を通じて欠食・孤食問題の解消に協力している。 <p>●環境問題への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶場内事業者への節電の啓発と併せ、市場内の照明設備についてもLED化を推進し、場内業者に対してもLEDに転換するよう働きかけている。 <p>【事業実績】 設置台数 (4-12月) : 152台 (H24~28年度) : 165台</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶場内で発生する廃棄物(一般廃棄物、青果くず、魚あら、廃棄パレット、廃プラパレット、汚泥)を削減するため、場内業者への啓発を強化している。 ▶場外からの持ち込みごみを阻止するため、防犯カメラ等により持込業者を特定し、厳しい個別指導を行っている。 	<p>S</p> <p>●府・公共事業協力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶食育事業や食の安全・安心領域だけでなく、「2025万博誘致PR」、「大阪産(もん)ブランド推進」等、多岐にわたる分野で行政に協力している。 ▶府が実施するイベント等での賞品提供など、積極的に協力・支援している。 ▶「府政学習会」や茨木市主催の「魅力発見ツアー」に協力し、市場施設を活用した、食育や食の安全・安心に関する学習の場を提供している。 ▶災害に強い市場づくりのため非常用備蓄セット(2日分の食料、携帯用トイレ等500セット)付きの飲料自販機を導入するなど、公の施設として重要な事業に積極的に取り組んでいる。 <p>○行政の福祉化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶「障がい者の就労支援」に協力し、新たに精神障がい者も訓練対象とし管理棟における清掃訓練等を継続して実施している。 ▶清掃業務の受託事業者に対して障がい者雇用を働きかけ、引き続き2名の雇用を実現している。 ▶C-STEP(おおさか人材雇用開発人権センター)と連携し、就職困難者の雇用・就労支援のあり方について提言・情報交換を行っている。 <p>○府民、NPOとの共同</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶大学や民間団体等と連携し、食に関する人材の育成や食の安全・安心、食育等に積極的に取り組んでいる。 ▶場内業者の協力を得て「NPO 法人茨木こども食堂」への食材提供を開始した。 <p>○環境問題への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶市場内の照明器具のLED化を進めるとともに、場内業者に対しても事務所内のLED化を働きかけている。 ▶分別用のごみ箱を設置するなど、場内業者への啓発を行うことで、削減につなげている。 ▶防犯カメラ設置等による持込業者の特定・指導、ごみ置場への鍵付き門の設置、利用時間の制限など場内ルール徹底に積極的に取り組み、処理費用の削減に大きな効果をあげている。 ▶処理費用の削減、再生利用による売却益の確保に取り組んでいる。 	<p>S</p>	

			<p>【事業実績】 設置台数 (4-12月) : 5台 (H24~28年度) : 87台</p> <p>▶ごみ置場に鍵付きの門を設置するとともに利用時間を制限するなど効果的な措置を講じている。 ▶廃棄物の分別を推進するため、分別用のごみ箱を設置するとともに場内業者に対する啓発を強化している。 ▶プラスチック製廃パレット等については、これまで産業廃棄物として有料で処分をしていたものを再生利用するように転換し、処理費用を上回る売却益を確保している。 ▶魚あらについても業者との交渉により27年12月から処理費用をゼロにし、引き続き継続させている。 ▶この結果、平成29年12月末までの廃棄物排出量は対前年同期比23.8%、処理費用は同34.1%それぞれ削減できた。</p> <p>【廃棄物処理実績(4-12月)】 排出量 : 5,159トン(対前年同期比▲23.8%) 処理費 : 28,393千円(対前年同期比▲34.1%)</p>			
<p>さらなるサービスの向上に関する項目</p>	<p>(1)利用者満足度調査等</p>	<p>●利用者調査の実施及び結果のフィードバック 聞き取り調査 アンケート調査 など</p>	<p>▶毎月定例開催される「常駐代表者会議」において、事業の取組状況について報告するとともに、今後の業務運営方針の審議を通じて場内業者の意見・要望・提言の把握を行い、事業に反映させるなど市場関係者が一体となって管理運営業務に当たっている。</p> <p>▶日常的に青果・水産仲卸組合の役員との情報交換を行うとともに理事会等に参画し、意見を聴取している。 ▶施設設備に異常がないかどうかを点検するため社員が毎日場内をラウンドしているが、その都度、各店舗に出向き、場内業者から直接、要望やニーズを把握し、現場の生の声を管理運営業務に反映させている。 ▶市場開放デー(H29.11.12開催)(402枚配布:回収率67.2%)や市場見学会においても、来場者のアンケート調査を実施し、寄せられた意見・提言を市場運営にフィードバックさせている。 ▶24時間市場関係者と接触する機会が多い警備員を通じて市場ユーザーの声を聴取するよう努めている。 ▶ホームページにおいてご意見欄を設け、府民の声を管理運営業務に反映させている。</p>	A	<p>▶毎月開催される「常駐代表者会議」において、事業の実績と今後の取組予定を報告、場内業者からの要望等の把握に努め、管理運営業務に反映させている。</p> <p>▶日常的な場内ラウンド中に場内業者との情報交換を積極的に行うとともに、組合の理事会等にも参加することで、各店舗の要望やニーズを把握し、現場の生の声を管理運営業務に反映させている。</p> <p>▶来場者等へのアンケート調査で寄せられた意見・提言を管理運営業務に反映している。</p> <p>▶警備員への聞き取りや、ホームページ内での問い合わせフォームの設置など、場内業者だけでなく府民のニーズを把握し管理運営業務に反映する体制を整えている。</p>	A
	<p>(2)その他創意工夫</p>	<p>●サービス向上につながる取組み、創意工夫が行われているか</p>	<p>▶施設設備等の不具合が発生した場合、すばやく現場に駆けつけ、即日に社員又は専門業者が修理に着手し、市場業務に支障が出ないよう常にスピード感をもって臨機応変の対応を行っている。</p> <p>▶買出人駐車場の秩序維持を図り、顧客である買出人の利便性の向上を図るため、早朝にラウンドを行い、場内業者の排除を行っている。</p> <p>▶場内業者の就業時間に沿ったサービスの提供ができるよう、平日の営業時間を午前8時から午後5時まで延長している。</p>	A	<p>▶速やかに現場に駆けつけ、即日修理に着手するなど、市場業務に支障がないようスピード感をもって臨機応変に対応している。</p> <p>▶早朝に場内の見回りを行い、場内業者の車を買出人用無料駐車場から退去するよう指導するなど、顧客である買出人の利便性の向上に努めている。</p> <p>▶営業時間を午前8時から午後5時まで延長し、場内事業者の就業時間に合わせたサービス提供に努めている。</p>	A

<p>(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>●事業収支は計画と比べて妥当か</p>	<p>▶事業収支は概ね計画どおり推移し、収支均衡の取れた黒字基調で推移している。 ▶府への納付金は契約どおり遅滞なく納付している。</p>	<p>A</p>	<p>▶第3四半期までの収支状況は、概ね計画通り推移している。 ▶納付金Iは納付期限内に納付されている。</p>	<p>A</p>	
<p>(2) 安定的な運営が可能となる人的能力</p>	<p>●事業実施に必要な人員が確保され、また配置されているか ●職員の指導育成、研修体制は整備されているか ●職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか</p>	<p>●事業実施に必要な人員が確保され、また配置されているか ▶市場の管理運営業務は複雑で広範多岐にわたり、また、折衝の相手も市場のプロであることから困難を極めるが、正社員5名、嘱託社員1名という極めて少数の社員で管理運営業務を担っているものの、各社員は業務に関連する様々な資格を有する優秀な人材であり、モチベーションも高く業務は遅滞なくスピーディに処理されており、市場関係者からも非常に高い評価を得ている。 ▶6名という少数の組織体制のもとで、社員の所掌事務を固定してしまうと効率的な対応ができないため原則として固定せず、日々の状況に応じてどのような業務でも臨機応変にこなせるオールラウンドプレイヤーとして研鑽し、管理運営業務に当たっているが、特に問題なく円滑に処理されている。</p> <p>●職員の指導育成、研修体制は整備されているか ▶人権問題啓発に関しては、茨木市人企連及び大阪府公正採用人権啓発推進センターに参画し、人権啓発推進員を中心にCSRの取り組みを強化するとともに、全社員の人権意識を高めるため人権研修を積極的に受講させ、労務管理、経理研修等も積極的に参加させている。 ▶業務遂行に必要とされる防火管理者やフォークリフト等の資格取得についても社費で研修費を補助し、積極的に取得させている。今後とも施設設備の管理に必要とされるより高度専門的な資格も積極的に取得させる。 ▶自己啓発のための研修についても研修費用の一部を補助することによりインセンティブを与え積極的に参加させている。</p> <p>●職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか ▶事務統括社員は、毎日、早朝に社長等との業務の打ち合わせを行い、この場で会社の運営方針を決定、確認し、一般社員に対してはミーティングを開催することにより情報の伝達、共有、意見交換を行っており、業務は円滑に遂行されている。</p>	<p>A</p>	<p>○事業実施に必要な人員が確保され、また配置されているか ▶必要な人員が配置され、業務は遅滞なく円滑に行われている。</p> <p>○職員の指導育成、研修体制は整備されているか ▶社員の研修への参加や資格の取得など、業務遂行に必要な知識・技術を習得させる体制整備に努めている</p> <p>○職員の管理体制が整備され、監督責任が果たされているか ▶職員の管理体制、監督責任は十分に果たされている。</p>	<p>A</p>	
<p>(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤</p>	<p>●経営規模、事業規模、組織規模等は十分か ●財務状況は適正か</p>	<p>●経営規模、事業規模、組織規模等は十分か ▶日常業務は社員間の業務量が平準化され、過重労働もなく処理されており、経営規模、事業規模、組織規模も妥当である。</p> <p>●財務状況は適正か ▶利用料金の滞納ゼロ、インゴット売却等の収入の確保、委託料や人件費の抑制等によるコストの大幅な削減等の経営努力により、第3四半期における営業利益は69,688千円、経常利益は82,935千円を計上するなど財務状況は極めて安定している。 ▶会社運営に必要な内部留保金も適正な額を確保し、期末繰越利益剰余金は148,540千円となり、円滑な業務遂行を行っていく上での財政、経営基盤は安定している。 ▶平成27年の税務調査及び昨年11月に実施された大阪府監査においても財務内容に関する問題は指摘されておらず是認されている。</p>	<p>S</p>	<p>○経営規模、事業規模、組織規模等は十分か ▶日常業務等は、ほぼ所定労働時間内に滞りなく処理されており、経営規模、事業規模、組織規模は妥当である。</p> <p>○財務状況は適正か ▶滞納ゼロやコストの削減に努めることで、財源を確保し、その財源を市場活性化事業、施設の修繕に投資・還元することで市場の活性化に大きく貢献している。</p> <p>・事業実績見込額(抜) 【再掲】 維持補修事業 100,000千円 市場活性化事業 80,000千円</p> <p>▶経営基盤は安定していることから、財務状況は適切と言える。なお、平成29年11月20、21日に実施された、府監査委員事務局による財政援助団体等監査において、公認会計士の監査を受検した結果、財務内容に関する問題は指摘されていない。</p>	<p>S</p>	

【別紙】		市場活性化事業の取り組み状況(H29.4.1-12.31)								【税抜】	
ジャンル	取組みの方向	具体的事業	実績				H29年度当初事業計画			備考	
			実施内容	事業費	進捗状況(%)	効果	事業費(円)	目標	実施時期		
魅力ある市場づくり	清潔な市場の実現	管理棟トイレの改修	5~7階トイレ6か所	31,439,000	100.0	・清潔な市場づくり ・市場ユーザーの増加 ・市場のイメージアップ	40,000,000	6か所	上半期		
		美化キャンペーンの啓発	美化キャンペーン啓発ポスターの活用等	—	—	・清潔な市場づくり ・市場のイメージアップ	—	—	通年		
		大掃除の充実	場内関係者の参加拡大による場内一斉大掃除の充実 [実施日]6/9、9/6、11/10	—	—	・清潔な市場づくり ・市場のイメージアップ ・場内業者の意識改革 ・場内ごみの減少	—	—	通年		
		不法投棄の防止	○ごみ置き場付近における監視・巡回活動の強化 ○防犯カメラによる監視強化 ○不法投棄者への個別指導(廃棄物処理業者の紹介) ○警察への告発	—	—	・清潔な市場づくり ・場内ごみの減少 ・市場のイメージアップ	—	—	通年		
		ごみの分別の徹底	分別用ごみコンテナ、ごみ箱の利用促進	—	—		—	—	通年		
		禁煙対策の徹底	○喫煙室の整備(11か所程度) ○禁煙啓発ポスター、社員のラウンドによる啓発指導 ○禁煙区域での喫煙者に対する行政処分(入場禁止)	0	0	・清潔な市場づくり ・市場のイメージアップ ・場内業者の意識改革	[分煙コーナー] 10,000,000	4か所	通年 分煙コーナー (下半期)	分煙コーナー設置場所等協議中 H30.2.15常駐代表者会議において決定予定	
		カラス防除	○捕獲員によるカラス捕獲(7回,54羽)(委託料) ○新たなカラス防除手法の検討(捕獲器の設置、鷹匠による追撃)	155,000	46.7	・清潔な市場づくり ・食の安心・安全の確保	1,000,000	捕獲15回 200羽	通年	委託料で計上 捕獲器設置(H30.1)、鷹匠(H30.3)	
		そ族(クマネズミ)等駆除	トラップ等による捕獲	0	0		100,000	—		衛生管理委託業務で対応	
	荷捌きスペース等の確保	青果商品置場、荷捌場の整備	既存施設、車両導線の見直し等によるスペースの確保	0	0		10,000,000		下半期		
			青果棟大通り区画線引	345,000	—	・取扱量の拡大 ・食の安心・安全の確保 ・市場のイメージアップ	—	—	—	修繕費で計上	
			プラットホーム2階大屋根拡幅工事設計業務(委託料)	1,000,000	100.0		1,000,000		上半期	委託料で計上	
	安全な市場づくり	場内路上駐車場の解消	○ガードレール、ポールコーン等の設置による不法駐車 の排除(カラーコーン420本) ○路上での荷捌き等の是正指導の強化	208,800	104.4	・場内交通秩序の維持 ・交通安全の確保	200,000		通年		
		防犯対策の強化	○夜間防犯パトロールの強化 ○防犯カメラによる監視の強化、警察への告発	—	—	・不法投棄の防止 ・窃盗の防止			通年		
	スマート市場づくり	節電促進及びキャンペーン	キャンペーンポスターによる啓発強化	—	—	節電による管理コストの節減			通年		
既存照明のLEDへの転換		場内共用区域における既存照明のLED化の推進 ○青果・水産2階事務所周りに駐車場(4,511,000円) ○管理棟7階講堂	4,511,000	64.4	・節電 ・スマート市場のアピール	7,000,000		下半期			
川上・川下との連携	量販店での販促、市場PR	量販店での販促イベント	○「ゆるきやらせりちゃん」を活用した量販店での販促(毎月実施) ○イベントの活性化(子供向けイベント等) ・イオン四条畷店食育フェスタ[5/20(追手門大学)]	104,510	104.5		100,000		通年		
	百貨店での販促、市場PR	阪神百貨店での魚食普及フェア	水産高校等とのコラボによる食育、魚食普及の推進 ・10月	34,260	17.1	・消費者への市場機能のPR ・食育の啓発、推進	200,000		下半期		
		京阪百貨店での販促イベント	・事業連携大学とタイアップした食育フェスタの開催 5/28(追手門大学) ・12/9(JA鳥取)	115,324	57.7		200,000		上半期		
	ホテル等での市場PR、販促	新阪急ホテルでの産地フェア	ホテル、産地とタイアップし、市場PR、販促活動を推進	0	0	・消費者への市場機能のPR ・販売促進	300,000		下半期		
	産地市場との意見交換	香川県庵治漁協関係者との意見交換会	オリーブハマチのレシピ製作(梅花学生)を通じての 魚食普及の推進と販売促進	—	—	・産地との取引拡大 ・産地特産品の販売促進	—	—	—	H29.9.30実施	
		JA徳島北、徳島県関係者との意見交換会	「コウノトリれんこん」の圃場見学、収穫体験を通じて消費拡大と販売 促進	—	—		—	—	—	H29.12.6実施	
情報発信機能の強化	料理教室等の開催	料理教室の開催	お魚料理教室の開催 ・茨木市・夏休みこどもクッキング・お魚料理教室の 開催(8/4) ・地域単位でのお魚教室の開催(9/5)	0	50.0		200,000	4回/年	通年	水産物卸協同組合と連携	
		旧食堂等を活用した場内での開催検討	0	0	・消費者への市場機能のPR ・食育の推進 ・魚・野菜の消費拡大	100,000		通年			
	市場見学会の充実	小学生向け見学会の充実	○見学会の実施 ・24校,2,195人,1,177,291円うち報償費409,041円 ○近隣市教委への働きかけ	1,177,291	81.3		800,000	25回 2,700人	通年	一部報償費で計上	
		一般見学会の開催	○見学会の実施 ・7団体,176人,148,277円うち報償費81,808円 ○ホームページによる広報	148,277	53.0		200,000	12回 300人	通年	一部報償費で計上	

【別紙】		市場活性化事業の取り組み状況(H29.4.1-12.31)						【税抜】			
情報発信機能の強化	広報活動の強化	業界紙との連携	イベント等特集記事、広告掲載 農経新聞、食品市場新聞、水産経済新聞、 中央市場新聞、みなと新聞、食糧経済新聞	248,519	82.8	・府市場の知名度のアップ ・市場機能、イベントのPR	300,000		通年		
		マスメディアへの資料提供	活性化事業、イベント行事等の資料提供	—	—		—		通年		
		ホームページの充実	市場日報、イベント情報をリアルタイムにアップ	0	0		200,000		通年		
		市場案内パンフレット、見学しおりの改訂・作成	市場案内パンフレットの改訂・増刷	0	0	・府市場の知名度のアップ ・市場機能、イベントのPR	500,000	1,000部	上半期	・こども向け発注済み(2,000部) ・一般用 2月発注予定(1,000部) (せり時間の変更未定)	
			見学しおりの改訂	0	0		500,000	1,500部	上半期	意匠協議中、3月末改訂予定 (せり時間の変更未定)	
		「せりちゃん」の活用	知名度をアップするため市場関連イベントに積極的に参加				—	30回	通年		
			ノベルティを作成し、イベント、販促等に活用 ・ポケットティッシュ(3,000個) ・名刺デザイン意匠、印刷	57,600	11.5		500,000		通年		
			大阪府主催イベントへの支援、協力	0	0		200,000		通年	H30.2「健康づくりアワード」開催予定	
	管理棟1階展示ホールの改修	展示ホール展示品等のリニューアル	0	0	4,500,000			上半期	意匠協議中、3月末完成予定		
	市場開放デーの充実	各種イベントの充実	広報の充実、強化 (ラジオ放送告知、コミュニティ誌、ケーブルテレビ)	200,000	66.7		・府市場の知名度のアップ、 ・市場機能、イベントのPR ・食育の推進	300,000		8月～11月	
			緑日等子供向けイベントの開催	29,123	58.2			50,000		11月	
			事業連携大学生の協力・参加(模擬せり等)	123,125	82.1	150,000			11月		
			フィッシュガール等によるマグロ解体ショー等	0	0	300,000			11月	場内業者で実施	
			高等学校プラスバンドの演奏	45,000	22.5	200,000			11月	市場協会と分担	
	小売・量販店の広報支援	・市場のぼりの制作提供 ・販促グッズの制作 ・取引店への提供	市場ゆるきゃらを活用したノベルティ等の制作、提供(再掲)	(57,600) (再掲)	(11.5)	・府市場のPR ・取引の拡大	(500,000)		5月	在庫の活用	
食に関する情報発信	梅花女子大学との連携	食育の実施、量販店等へのレシピ提供(産地との連携) オープンキャンパス、文化祭(小梅祭)等への協力 ・8/5-6 ・8/11-12 ・11/17 ・11/27-28 市場直送セール参加費(11/18)	69,019	23.0	・府市場の知名度のアップ、 ・市場機能のPR ・食育の推進	300,000		通年			
		○市場開放デー「食育コーナー」(再掲) ○「追手井」の普及促進 ・7/23 ・8/4-5 ・11/4-5 ・11/13-14 ○量販店等における食育フェスタ(再掲) ・5/20(イオン四條畷) ・5/28(京阪百貨店)	188,802	62.9		300,000		通年			
	大阪成蹊大学との連携	量販店等へのレシピ提供、食育等の実施(産地との連携)	0	0		100,000		通年			
	茨木こども食堂との連携、協力	NPO法人茨木茨木こども食堂への食材支援	3,800	1.9		200,000		7月	11月から実施、場内業者からの無償提供有		
	市場内への外部活力の導入	新たな消費者ニーズの取り込み	大阪府中央卸売市場ネットショップの拡充	—		—	・府市場のPR ・取引の拡大	—		通年	
指定管理者制度の活用	民間の創意の充実	入居者募集の営業活動	新たな店舗の誘致	—	—	・活性化向上 ・入居率のアップ	—	随時	通年		
合計				40,203,450円 うち 委託料1,155,000円 報償費 490,849円 修繕費 345,000円	50.3		80,000,000			提案額: 70,000千円 H29年度事業計画: 80,000千円	